

日南市公共施設等総合管理計画

(個別施設計画)

図書館編

令和2年3月

生涯学習課

1. 対象施設

平成29年度末現在、日南市内の図書館4館の延床面積は合計で2718.30㎡となっております。

No.	施設名	所在地	総床面積 (㎡)	棟数
1	日南市立図書館	日南市飢肥二丁目6-18	703.95	1
2	まなびピア図書館	日南市木山二丁目4-44	543.35	1
3	北郷図書館	日南市北郷町郷之原乙1570	843.00	1
4	南郷図書館(南郷ハートフルセンター)	日南市南郷町中村乙7051-26	628.00	2
合計			2,718.30	5

2. 計画期間

令和2年(2020年)度から令和8年(2026年)度までの7年間とし、進捗状況の結果等を踏まえて、適宜、計画を見直すものとします。

3. 対策の優先順位の考え方

(1) 施設の役割

図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設です。

(2) 現状と課題

本市は、日南市立図書館、まなびピア図書館、南郷図書館、北郷図書館の4館と移動図書館車「たいよう号」(35カ所のステーション)による図書館ネットワークによるサービスを行っており、蔵書は約28万冊、人口あたりの図書館数でも9市の中で充実している状況です。

一方、平成29年度末現在で、本館が築35年、北郷図書館が築29年、南郷図書館が築22年、まなびピア図書館が築16年となっています。

各館の面積は限られていることと、施設、設備が老朽化していることから、閲覧や読み聞かせ、インターネット、視聴覚機材利用、飲食等の多様なニーズを提供することが困難な状態です。併せて貸出冊数が近年減少傾向にあります。

令和8年(2026年)度の本市の推定される人口は約46,100人(H30年4月1日対比11%減。引用元:日南市人口ビジョン)であり、将来的に現在の4館すべての存続は財政的に困難となることが予想されます。

今後はニーズ、人口規模及び財政規模に適した図書館のあり方を計画することが課題です。

(3) 今後の施設の考え方

各館の耐用年数は、本館が2029年度、北郷図書館が2035年度、南郷図書館が2042年度、まなびピア図書館が2048年度に減価償却を迎えます。(※耐用年数の引用元は市税務課固定資産台帳の値です。)

また、施設の長寿命化を図るために、築30年で大規模改修を実施した場合、まなびピア図書館を除く3館は2025年度までに大規模改修時期を迎えることとなります(既に鉄肥及び北郷図書館は大規模改修時期を過ぎています。)

3館の大規模改修経費は合計で約5億4,300万円(※1)を上回る見込みもあり財政的負担が大きく、さらに人口減少も懸念されるため4館体制について検討する必要があります。

また、図書館の将来像(あり方)についても、十分に検討する必要があり、そのために市民から広く意見を求めています。

これらの過程を経て統廃合を含む様々な形での市立図書館のあり方を検討していきます。

※1 参考

建築後30年を目途に大規模改修を想定した場合の試算(25万円/㎡×床面積)

(改修費用は、「総務省 公共施設更新費用試算ソフト更新単価」により算定)

施設	経費(円)	築30年
日南市立図書館	175,987,500	2012年
北郷図書館	210,750,000	2018年
南郷図書館	157,000,000	2025年
小計	543,737,500	
まなびピア図書館	135,837,500	2031年
合計	679,575,000	

4. 施設の状況等

(1) 施設性能

No.	施設名	建築年度	経過年数	構造	耐用年数	残寿命年数 (年)	耐震		大規模改修	
							診断	改修	年度	改修
1	日南市立図書館	S57年度	35	RC	47	12	新	新		
2	まなびピア図書館	H13年度	16	RC	47	31	新	新		
3	北郷図書館	S63年度	29	RC	47	18	新	新		
4	南郷図書館(南郷ハートフルセンター)	H7年度	22	RC	47	25	新	新		

(注1)平成29年度末現在の状況を記載

(注2)複数の建物からなる施設については、主たる建物について記載

※構造:W=木造、RC=鉄筋コンクリート、SRC=鉄筋鉄骨コンクリート、S=鉄骨、LGS=軽量鉄骨、CB=コンクリートブロック

※残寿命年数:耐用年数-経過年数[基準年度-建築年度]

※耐震診断:新=新耐震基準(建築年がS57年以降)、済=旧耐震基準(建築年がS56年以前)であるが耐震診断実施済み、未=旧耐震基準で耐震診断が未実施、不=旧耐震基準であるが新耐震基準で建てられているため、耐震診断不要

※耐震改修:新=新耐震基準、済=耐震改修が実施済み、未=耐震診断未実施又は耐震改修が必要だが未実施

不=旧耐震基準であるが耐震改修が不要

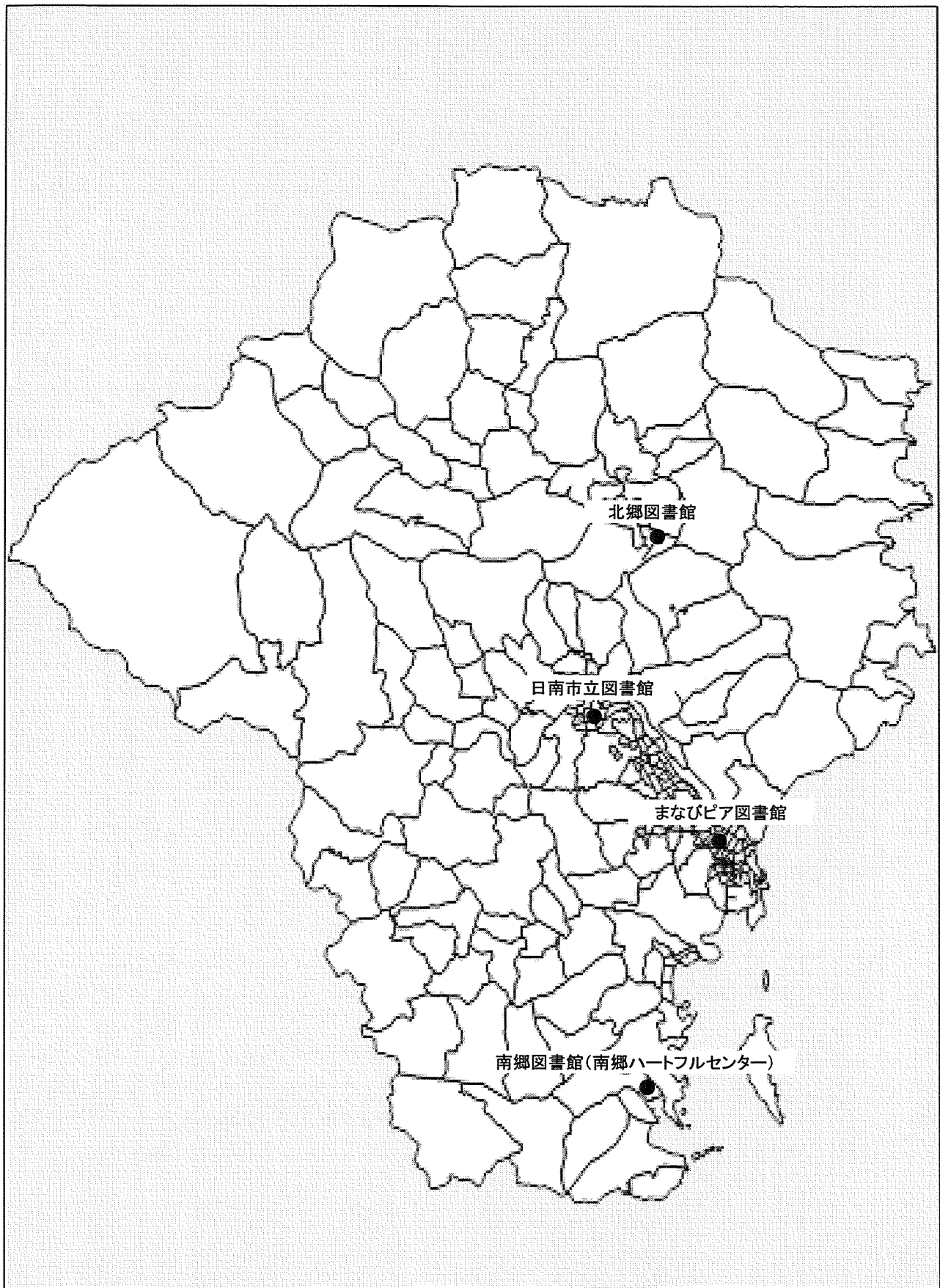
※大規模改修:屋=屋根改修、屋上防水改修、壁=外壁改修、他=設備改修、内装その他改修

(2) 利用・運営状況

No.	施設名	総床面積 (㎡)	稼働日数 (日)	利用者数 (人)	年間コスト (円)	㎡当たりコスト (円)	1日当たり利用者数 (人)
1	日南市立図書館	703.95	289	20,762	31,257,000	44,402	72
2	まなびピア図書館	543.35	289	34,717	9,245,094	17,015	120
3	北郷図書館	843.00	289	9,121	12,163,436	14,429	32
4	南郷図書館(南郷ハートフルセンター)	628.00	289	15,438	8,202,947	13,062	53

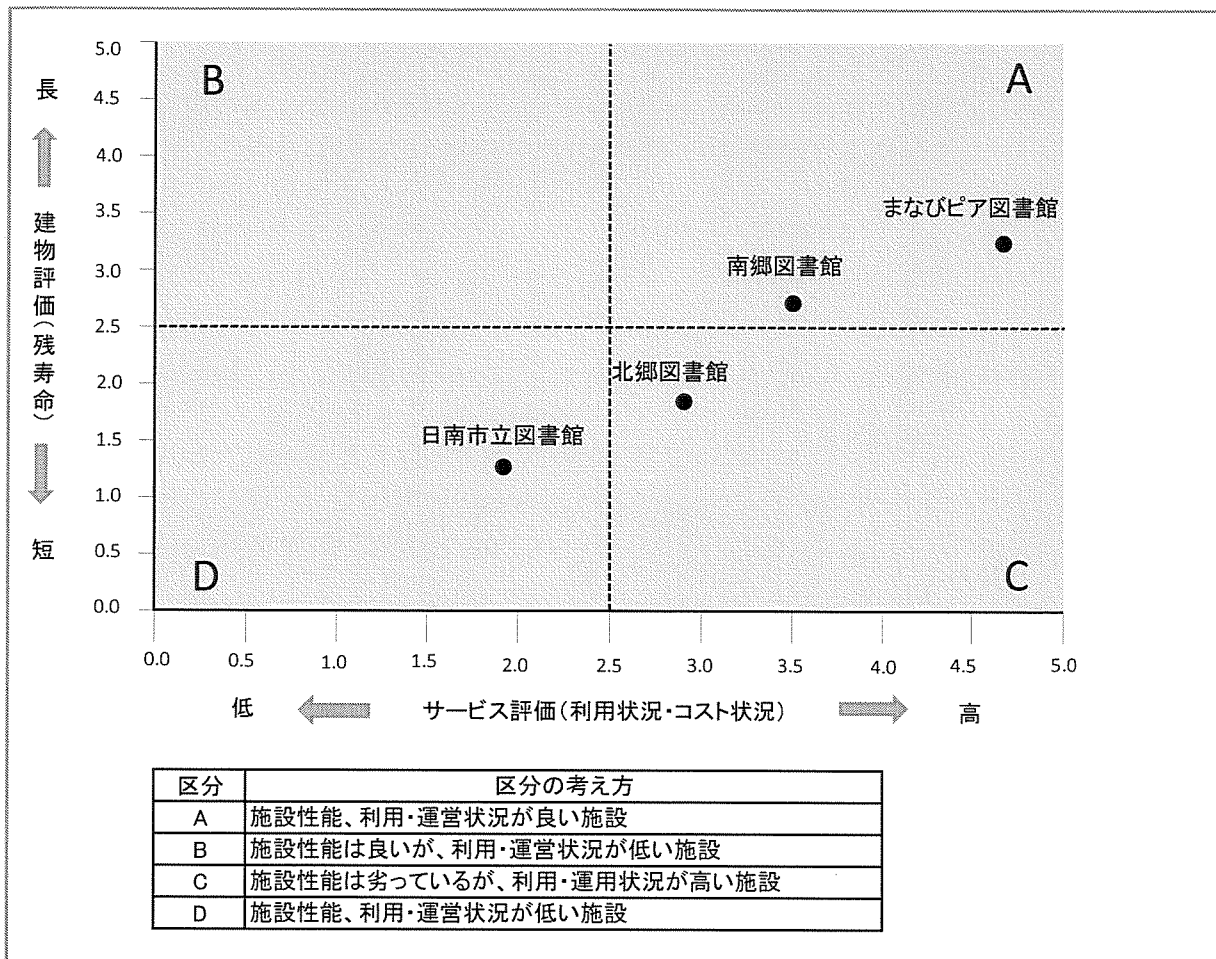
(注)稼働日数、利用者数、年間コストは、過去3年間(H27~29年度)の平均を記載

5. 施設配置状況



6. ポジショニング分析(施設評価)結果

各施設の施設性能(ハード面)と利用・運営状況(ソフト面)の重要な2つの指標について、数値化し、施設の特徴や傾向を4つの区分(A、B、C、D)に分けて表したものです。



【施設評価の考え方】

縦軸: 建物評価の点数

○残寿命年数

施設の残寿命年数を計算し、建物の評価点を出す(5段階評価で5点満点)。マイナス評価の場合は、0点とする。

〈計算式〉

耐用年数 - (基準年度(2017年度) - 建築年度) = 残寿命年数

(残寿命年数 / 耐用年数) × 5点 = 残寿命年数の点数

例) 平成4年度(1992年度)建築された、鉄筋コンクリートの庁舎の場合

50(耐用年数) - (2017 - 1992) = 25 25(残寿命年数) / 50(耐用年数) × 5点 = 2.5点(残寿命年数の点数)

横軸: サービス評価の点数

○㎡当たりのコスト

㎡当たりコストが最も小さい施設を5点、最も大きい施設を1点とし、その他の点数は数値に応じて比例配分する。

不明の場合は0点とする。

○1日当たりの利用者数

1日当たり利用者数が最も多い施設を5点、最も少ない施設を1点とし、その他の点数は数値に応じて比例配分する。

不明の場合は、0点とする。

サービス評価の点数 = (利用者1人当たりコストの点数 + 1日当たり利用者数の点数) × 1/2

※過去3年間(H27~29年度)の平均により算定。

7. 適正化計画

現状や課題、今後の考え方を踏まえ検討した適正化計画は次のとおりです。

(1) 今後の方針

※ 現状の②、③、④は平成29年度末実績です。

No.	施設名	方針
1	日南市立図書館	<p>●現状</p> <p>① 施設面・・・建築後35年が経過しており、また、読み聞かせスペースが狭く司書の事務作業スペースが狭いなどの問題があります。 なお、本館は他館イベントの集約及び図書予約、勤務体制の集約・調整、学級文庫の図書集約場所としての機能を持つため、事務・作業スペースの確保は重要です。</p> <p>② 1日当たりの平均利用者・・・65.6人</p> <p>③ 対象人口・・・20,523人</p> <p>④ 対象人口当の貸出冊数・・・3.70冊</p> <p>●方針</p> <p>当分の間、継続して利用することとし、図書館の将来像(あり方)を検討する中で施設の統廃合についても検討します。</p>
2	まなびピア図書館	<p>●現状</p> <p>① 施設面・・・建築後16年と他館に比べ新しい施設ですが、設備面での補修に注意が必要です。閉架書庫と事務室が一体であり、閉架・事務スペースともに狭く、特に閉架書庫は既に飽和状態にあり、事務スペースに閉架図書を保管している状況です。</p> <p>② 1日当たりの平均利用者・・・107.9人</p> <p>③ 対象人口・・・18,509人</p> <p>④ 対象人口当の貸出冊数・・・5.58冊</p> <p>●方針</p> <p>当分の間、継続して利用することとし、図書館の将来像(あり方)を検討する中で施設の統廃合についても検討します。</p>
3	北郷図書館	<p>●現状</p> <p>① 施設面・・・建築後28年が経過し照明器具や雨漏りなどの老朽化が目立ちます。光熱水費は4館のうち最も高くなっています(他館と比較して照明器具が多い)。</p> <p>② 1日当たりの平均利用者・・・26.7人</p> <p>③ 対象人口・・・4,163人</p> <p>④ 対象人口当の貸出冊数・・・4.83冊</p> <p>●方針</p> <p>当分の間、継続して利用することとし、図書館の将来像(あり方)を検討する中で施設の統廃合についても検討します。</p>
4	南郷図書館(南郷ハートフルセンター)	<p>●現状</p> <p>① 施設面・・・建築後22年が経過しているものの施設の老朽化による支障は少ない状況です。</p> <p>② 1日当たりの平均利用者・・・50.1人</p> <p>③ 対象人口・・・9,540人</p> <p>④ 対象人口当の貸出冊数・・・4.38冊</p> <p>●方針</p> <p>当分の間、継続して利用することとし、図書館の将来像(あり方)を検討する中で施設の統廃合についても検討します。</p>

(2) 計画期間内(7年)の対策内容及び対策費用

(単位:百万円)

No.	施設名	棟名称	項目	計画期間						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
1	日南市立図書館	図書館	対策内容							
			対策費用							
2	まなびピア図書館	図書館	対策内容							
			対策費用							
3	北郷図書館	図書館	対策内容							
			対策費用							
		倉庫	対策内容							
			対策費用							
4	南郷図書館(南郷ハートフルセンター)	図書館	対策内容							
			対策費用							